桜美林学園
同窓会だより
2019.3.25発行　200号

2019 総会＆リ・ユニオン開催のお知らせ …… 1
200号記念特集「復活の丘」 …… 2
同窓会活動のお知らせ …… 6
広げようオビリンナーの輪 …… 8
追悼 …… 12
清水安三先生随筆 …… 14
Information／編集後記 …… 16

2019 総会＆リ・ユニオン開催のお知らせ

桜美林学園は、2021年に創立100周年を迎えます。
次の100年を見据え、同窓生の皆さまと楽しいひとときを持ちたいと思います。
ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。

◉日程・場所・お申し込み

日程：6月1日（土）
場所：町田キャンパス 荊冠堂チャペル
会費：3,000円
参加申込締切：5月17日（金）

※人数確認のため、ご出欠は同封のハガキにてお願いいたします。
会費は当日受付にてお支払いください。

◉当日のプログラム

10:00　開場・受付
10:30　礼拝
10:45　総会
11:15　阿部友昭氏講演会
12:30　リ・ユニオン（懇親会）
14:30　閉会

◉出席予定の先生方（敬称略50音順）

石川忠久　伊藤隆吉　内山美津夫　大越 孝　小椋郊一
狩野 博　神田道彦　久保田圭作　小林 茂　桜井 萌
佐藤東洋士　柴 適　清水賢一　志村 望　新藤泰男
杉崎和子　田中慎也　堤 稔子　畑山浩昭　藤崎堅信
藤田慶喜　藤野英雄　三島次郎

※ 学園敷地内は全面禁煙です。喫煙所はありません。

※ 当日は淵野辺駅よりスクールバスが運行しています。
学園へのアクセスは、大学ウェブサイトをご覧ください。
https://www.obirin.ac.jp/access/

※ 同期会・クラス会・ゼミ・部活・サークルなどの集まりの同日開催を歓迎します。開催の際は、通信費の補助を行っていますので詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

※ 同窓会の主催行事の写真は、同窓会発行の印刷物で使用する場合があります。

阿部友昭氏講演会

未来への遺言

阿部友昭氏
桜美林学園同窓会 宮城支部 副支部長

1952年生まれ。宮城県本吉郡南三陸町志津川出身。1975年度桜美林大学文学部中国語中国文学科卒業。同年より宮城県中学校教諭として勤務。2003年から気仙沼市立新月中学校長、南三陸町立戸倉中学校長、南三陸町立歌津中学校長を歴任。2011年退職。1960年にチリ地震津波に被災し家屋全半壊。そして2011年にも東日本大震災に被災し家屋全壊流失。そうした自らの被災経験をもとに「命・心・夢」を大切にしようと各地で講演活動をしている。

おさそい　2019 還暦・古稀・喜寿・傘寿祝い礼拝 4月20日（土）開催
ご参加をお待ちしています。詳細は同窓会ウェブサイト、または同窓会事務局までお問い合わせください。

詳細はウェブサイトへ

同窓会だより 200号記念特集

発刊のことば

1955年8月1日 第1号より

清水安三先生による「発刊のことば」です。そもそもは「桜美林タイムス」という名前であったことがわかります。また「復活の丘」という名称の由来も記されています。

発刊のことば

清水安三

曾て私達は北京から、『支那の友』という小雑誌を発行して、月々会員の後援者に発送した事がある。『支那の友』には私共の支那輪を載せたり、学園の報告を掲げたりした。今でも地方へ講演の旅を試みると、初号から終刊号まで保存している人々に出逢い、感激させられることが屢々ある。

帰朝後『桜美林タイムス』を発刊したが、その名称が特定の団体の誘者を相手としているという理由で、第三種郵便物の認可をえられなかつたために、たつた四号までしか続かなかつた。私共は、日本全国に向かつて、否海外にまでも広く発送するので、認可せられぬと郵送料がかさむので困る。

そこで、この度は『復活の丘』という新たなる名称を以て発刊する事にした。

『復活の丘』という名くらい、オビリンナーにとつてなつかしき名称はなかろう。また、北京の東郊で一切を失つて、精神的に死んじまつた私達が、東京の西郊のこの丘のふもとで、再び芽を吹き出し文字通りに復活したのであるから謂わばこの丘の名そのものが、私達を象徴しているのである。

さればこそ、何という綽名にしようか。『復活の丘』と名付けたら、それがいい、衆議一決して、この綽名を以て江湖大方に見えることとなつた。どうかいく久しく御愛読を乞う。

生徒募集苦辛談

1955年12月1日 第5号より

清水安三先生が学生募集の苦労を語っておられるコラムです。ポスターを自ら街中に貼っては神に祈る姿勢には胸が熱くなります。草創期の先生方、先輩方の苦労があればこそ今の桜美林学園があるのです。

生徒募集苦辛談

× ×

今は昔に十年前のこととなつた。最初の生徒募集のポスターは江の島の林別邸（神田の古本屋影文堂の別邸）で書いた。今でも一枚につき十円も出して美しい印刷に附するが、創立の折は手で一枚々々書いたものだ。紙は一折大枚四十円也で教団からえた特別の配給の更半紙だつた。私が墨痕鮮かに書くしりから林美子さんが赤インキで◎を打つて呉れるのであつた。毎夜五、六十枚書いてどうか神さまと祈つて後眠り、翌朝飯でうに糊を入れて、持ち歩くきべタベタと自らはつた。最初の一枚を江の島駅にはつたればこそ、江の島の静文代さんが釣り上つたのである

× ×

小田急の各駅に下車して、駅前に二、三枚づゝはつた。今でも大和、鶴間、林間から生徒がいるが江の島ラインは最初に耕せるフィルドであつた。

駅前にポスターをはると、電車の着くまで待つて、電車から下り来る人々が、ポスターをよく見るように、自らも呆然と佇んで、自分のポスターを眺めていることにした。『何んだ何んだ、学校の広告か』などといつて行き過ぎるものも居た。

× ×

ポスターの裏に、糊をべたべたつけてはるのであるから、外套が糊だらけになるにはよわつた。軒下の廊箱だとか、林檎の袋箱を無断拝借して、それを足台にして、能うだけ高所にはるのであつた。ポスターをはり終ると、私はその下に立つたまゝ、瞑目して、『神よ、この一枚のポスターに依つて、一名の善良なる生徒を賜え』と祈り求めるのを常とした。

× ×

ポスターをはる前に、その軒の所有者のおうちをノックして、承諾を得ることにしたが、時として『ガビョウではつて下さいよ』と要求する家がある。ガビョウではつても、風雨のために、鋲のくるりから、直き破ぶけてしまうから私は、そつと、ポスターの裏に糊を塗つて、そつとはり、その上に鋲を打つことを忘れなかつた。

× ×

世に何がいやな仕事というてもポスターはり位いやな仕事はないけれども雇人にやらせると、少しはばつて来るが、百枚中三十枚、四十枚は必らず、墨糊にねち込んで変知らぬ顔するから、自らやることにした。宅の少年にやらせたら、幅本東限をはつて来たことは来たが、帰つて来ていうことには僕は広告せねばならぬような学校では勉強せないんだから、いやだという。『お前は知らないが、官公私の別なく何れの学校も、創立の頃は皆、大寛になつて生徒募集の宣伝をするんだよ』といつて、多摩少年院の徳先生も、同志社大学予科の教授の時代には、関西の各県の中学校へポスター携えて宣伝に行かれそうだよ。こういう私も小学生の頃県立膳所中学校の堤議長が、生徒募集に来られたものだから、膳中に行くことになつたのだよ』といつてきかせたことがある。

鴨居さんと、菅野碧さとは、共て、正直な方あると思つたから、ポスターはりをお委せしたが、その他は大概、ポスターはりだけはこの十年間スワット私自らの仕事として来つたものである。

× ×

生徒募集のため、毎年朝日、毎日、読売に小さい広告を依頼するが、広告料というものは実に高いもので、一万円位の広告は小さい小さいものである。来年はどうであるか知らぬが、一万円の広告で一体入学案内書の取寄せの手紙が何通来ると本文の誘者は想われるか。多くつて六十通位のものである。そしてその六十通が実つて愈々願書が届けられるまでに至るのは何通であると想われるか。せいぜい一、二通もあれば上出来である。

× ×

一番安くつくのは、神に祈ることである。価なくして神に祈ることが能きるのであるから、そうして何れの新聞に広告するよりも、神に祈ることの方がより効果的である。祈つていると必らず不思議に反響が降つて来る、これは私達十年間の体験であつて、ウソでも何んでもないのである。なくて、与えられし生徒は、謂わば神の申し子ではないが、神の申し生徒であつて、神より授つた生徒であると思う時に、私達はその後ろ姿を拝まねばならぬものである。故に私は前に在ては、生徒に礼一拝して頂くが、後ろ向いては私は、常に生徒サンのうしろ姿を拝んでいるのである。わしの様な、愚なものと、師弟の交をよく結ばんとて、よくも来て呉れた、感謝々々という気持になるのである。恰も神に与えられんことを祈つて、石女が漸く生んだ子供の如くに、私は生徒を感ずるのである。

清水安三手記

～「復活の丘」を読む～

同窓会だよりの前身である「復活の丘」は、1955年8月1日に創刊されました。創立者である清水安三先生が本格的に学園を発展させるため、卒業生や日本全国、海外の知人や支持者たちに学園広報誌として送っていました。創刊時はA4版で4ページ、そこからほぼ毎月のペースで発行され続け、1993年の第151号で「同窓会だより」と名称を変更し、現在に至ります。200号となる今回は、記念特集として「復活の丘」から記事を厳選して紹介します。当時の桜美林学園の雰囲気や、安三先生の学園に込めた思いなどを感じ取っていただければ幸いです。

男女共学に就て

1956年7月1日 第12号より

桜美林学園は「男女共学」の先駆的存在でした。戦後に普及し、今では当たり前となった男女共学の教育課程ですが、1955年当時にはまだまだ男女共学に対する根強い反対意見などもありました。そうした状況にあって、はっきりと男女共学の意義を説かれる清水郁子先生の文章です。現代の学生の皆さんもここにある「不文律」を今一度読んでみてはいかがでしょうか。

5、共学不文律

男女共学の先駆を以て任ずる桜美林学園には創立以来左の不文律がある。（創立者の手文箱の中には死後開げられる成文律が蔵つてある）

一、男女学生は自由平等の基本原理に立ち基督教的兄弟愛を以て互に敬愛し協力しなければならぬ

一、男女の交際は淡々として水の如く、清く、明るく、公開的でなければならぬ。

一、男女学生は二人限りで閉め切つた部屋にいることを許されない。

一、男女学生は異性の寮室を訪問することを許されない

一、男女学生は校道、山道、その他人通りのない道を二人限りで歩くことを許されない。

一、男女学生の文通はハガキ使用を限度とし、公開的なものであること。

一、男女の恋愛感情は在学中は表現せぬ事。

右、不文律の違反者は、転校若しくは退学の止むなきに至る。

以上

共学の弊を未然に防ぎ、良き共学の伝統を打ち立て様というのが学園の真摯な意向である。

共学校ではクラス編成で、男女の数が問題となつている。理想的なのは男女3：1の割合だといわれる。桜美林では生徒募集に際して、単に男女何名と綜合的に表明する丈であるが、その結果は不思議に男女略々同数となる。それが学習活動に於ける投票採決又は様々の協力的活動に於て合理的にゆく。だからといつて男対一対々々の深刻な変りは許されない。

新らしい様で古く、古い様で新らしいのがオベリン独特の共学律である。

新らしい校歌

1958年12月15日 第31号より

現在の学園歌が発表された際の記事です。作詞は清水安三先生、作曲は元桜美林中学校長の小川留三先生。「すっきりモダンな日本語にした」とあるように、歌詞からは文語調の雰囲気は感じられません。時代の変化に敏感に応じようとした、あるいは新しい教育のあり方を提唱しようとした、当時の桜美林学園の志がよく伝わる校歌です。

新らしい校歌

従来は歌詞と共に、大学家持の歌「海行かば」の譜で校歌を唱つていた。あれでは他日学園の野球チームが甲子園へ行った場合、「海行かば」の譜が放送されたなら、全国民がびっくり仰天するだろう。あの譜は実に立派な楽譜であるから校歌として用いる時に、後の世に遺るとまで考えたが、やっぱりもう一ツ別な校歌を作ることにした。今度の歌詞は、

一、大空遠く 雲をあげて
富士の高嶺は のぞいている
桜の園の若人達は（女声）
健かに（女声）逞ましく（男声）
育つかと
あゝ オベリンナー
もろ手をあげて
イエスイエスイエスと（女声）
イエスイエスイエスと（男声）
叫ばうよ

二、大空高く 十字架の立つ
復活の丘は きいている
桜の園の若人達は（女声）
桜の園の若人達は（男声）
きよらかに（女声）
いさましく（男声）
生げるかと
あゝ オベリンナー
もろ手をあげて
イエスイエスイエスと（女声）
イエスイエスイエスと（男声）
叫ばうよ

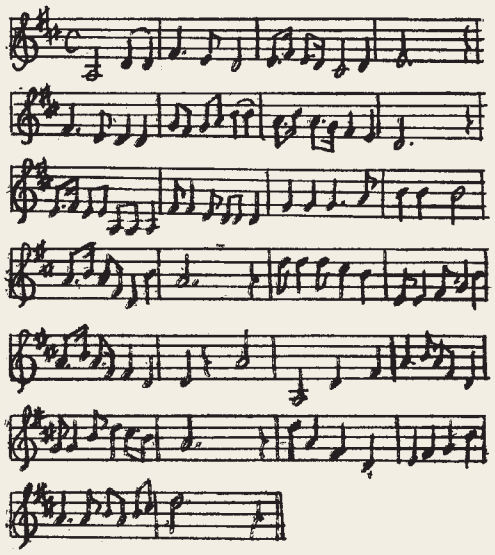
この歌詞の意味は左の如くである。一番の富士の高嶺（たかね）が雲（かぐと）をあげてのぞいているというのは学園から遥かに仰ぎ見る富士山は甲斐の山々に隠くれて、九合目以上が見えないので、さながら雲をあげてのぞいている如く見えるからである。これは富士の高嶺といっても、神様を象徴したもので、神様が「今朝も桜美林学園はうまく運ばれているかな！」とのぞいて居られるというどころを歌つたものである。

二番の十字架建てる復活の丘が眺めているというのは、十字架ですから、イエス様が眺めていられるというところを象徴したのである。現にこの度建てられたチャペルの高い塔には、十字架が立てられている。この十字架は銅であるから、二、三年もすれば緑錆がふいて少すやおだやかな渋味のある色に変るであろう。あゝオベリンナーというのは Oberliner といってオベリン人という意である。

この校歌の特徴は、第一に歌詞が現代語であることだ。叫ばなむとでもいえば詩趣を感じもするが、もう昔の雅調にのみ詩趣を持つべきでないから、すっかりモダンな日本語にした。第二の特徴は男女共学であるから女声男声が交々その特色のある高低の音色で以って、唱える様にしておいた。第三の特徴はオベリンナーとか、イエスイエスイエスという様に横文字を混じたところが一層モダンモードが見出される。

因に作詩は例の如くに安三先生で、作曲は留三先生である。

桜美林校歌譜



リ・ユニオンでも歌われる、皆さまおなじみの校歌ですね

甲子園出場に思う

清水安三

一、

学園は近来全たくのとツイとる。アンマリついているので、うす気味わるい位である。

従来とても、今年こそは甲子園へ行くぞと、想うたことは幾度かあったが、まだ校旗が調製されていなかったり、ブラバンが組織されてなかったり、会計に一文だに余裕がなかったりで、万一東京予選で優勝しよったらどないしようと心中密に人知れず憂えたものだ、処が漸くこれ等の物が十分に悉く用意された時も時、優勝したのであるから、実に愉快である。実いうともしも数年前にでも優勝したら、ブラバンも無いし校旗さえ無くって天下に恥をかいたことだろう。よかったよかった丁度よく、何もかも備わっている今日出場することになりまことによかった。

二、

サテ一度び出場と決まると、日刊新聞、スポーツ新聞、週刊雑誌が、大きく取材して、デカデカと書いてくれたので、忽ちにして桜美林の名は全日本に知れわたってしまった。

もうサクラビリン学園等と読む者はなくなった。桜美林って清酒の名称ですか等と、きく者もなかろう。

人々は一千万円ー五千万円のPR料に値するだろうという、あるいはそうかも知れん。

三、

あるスポーツ紙と一週刊雑誌がバックネットすら無いと書いてあったが、近来高校野球が漸くプロ化しつつある折柄、部費に大金をかけておらぬことが世に知られたことが一つのお手本ともなってよかった。

実は、木骨のバックネットではあったが、あったのであるが去年の大風で倒壊したのである。方々から、五〇〇円札一〇〇〇円札封入の手紙が来るのには悉細千万だった。

四、

野球の名門はやがて、必らず「野球も名門」となるであろう。「桜美林は野球は強い」と言われると癪であるから「桜美林は野球も強い」と言われる時が来るに相違ない。

私の中学時代、膳中は全国野球大会で優勝した。

甲子園の前が鳴尾、その前が豊中、そしてそのもう一つ前が、京都の神楽岡の三高グラウンドが、全国野球大会の球場だった。その神楽岡の球場で、暨知一中をまかして優勝したのであった。

ところが、その野球の名門はやがて、学問の方も、その進学率に於て関西の名門とはなったのである。

我輩は何につけても、桜美林が名門となることを期待して止まぬのである。

五、

従来、桜美林の野球チームといえば、フェアプレーで、負けて称賛されるチームなので有名であったが、この度は甲子園でどうかそのお家芸のフェアプレーを全国のテレビ観衆の前で、演出してもらいたいものだ。

また桜美林の応援団は極めて女性的で、おとなしい一方であるとも称せられてきた。どうか甲子園でもその垢ぬけのしたゼンツルマン風の応援ぶりを見せてもらいたいものだ。

甲子園出場の桜美林高校チーム
（中央に千羽鶴のレイをかけている人は米国オベリン大学総長カー博士）

全日本の民衆は桜美林健児の行動を眼を皿にして見ているのである。何卒自重自愛して、桜美林スピリットを以て飽くまで正々堂々戦ってもらいたいものだ。

六、

なおこの度、甲子園へは多数の在校生が応戦に行くことであろう。我輩は五〇〇名の宿舎をさがしまわれたが、それでは悉らく足るまい。

その応戦、観戦に行く生徒諸君に真々もいっておくが、行為、行動一挙手一投足を慎んで、決して桜美林の名を辱しめるようなことがあってはならない。

地獄への落し穴は天国の門の入口に設けられてあるそうな。登竜門の真ぐ傍には、陥穽が必らず横わっている。

この度の甲子園出場が桜美林の悪名を、恥を天下に示めすことにならんとも限らぬ、何卒自重せられんことを望んで止まぬ。

七、

万一優勝するようなことがあっても決して、有頂天になってはならぬ、ハメをはずしてはなりません。

また不幸破れたからとて、ベソなぞかくものではない、タカが知れた野球ではないか、負けても泣いて涙を流すには及ばぬ。

但し勝った時には、流涙、満場の観衆が前でもよいから、涙を流してよか。

桜美林側のスタンドは断じて、相手のエラーに拍手、歓声をあげてはならぬ、こちらのフェアプレーにのみ万雷の拍手を送るがよいとにも角にも、この度こそは平素の桜美林スピリットが、選手にも、応援団にも、はたまた観衆にも遺憾なく表現されることを望んで止まない。

八

実言うと我輩は、甲子園へは黒枠の額の中に入って行くのであろうと想っていた。然るにこの度生身を携えて甲子園に行くことができ、もう之にて何時死んでもよいとまで思っているのであるが、人間という動物はまことに欲の深いもので何とかして、七月の朝日新聞主催の予選でも東京でみごと優勝して、八月にも甲子園へ再度行こうと存ずる。選手諸君は負けても勝っても、更に奮斗して、今夏再出場せられるように祈って止まぬ。

これは祈望的な観察か知らんが投手小島が、精進すれば、今夏もどうやら「いただき」ではなかろうか、どうもそんな気がしてならぬ。

世には人多しと雖、清水安三位ファイトの強い男はないであろう。御身等はその清水安三の学生ではないか、この老骨に負けてたまるものかと、叫びつつ何卒奮斗するように、阿孟

甲子園無料宿泊

甲子園へ応援、観戦にいらっしゃる方々に、無料宿舎を用意して置きます。至急御申込下さい。

▽女性の方々は曇の歌いてある教会堂に宿泊。

▽男性の方々は校のフロアーの幼稚園、教会堂。

▽貧困団体は後援会が負担

▽朝食はパンと牛乳を無料サービス。

▽昼、夕食は附近飲食店にて自費にて。

無料宿泊希望の方々は、卒業生は学園長秘書課岸間史江氏まで。在学生は各校長、園長にまで至急申出て下さい。

桜美林優勝

志村静雄

甲子園賭けし一戦汗にじむ
逆転のヒットにどよむ炎天下
夕映えにこだまする校歌甲子園
優勝戦閑散の街蟬時雨
炎天下息のむ快打我勝てり
泥と汗まみれて握る優勝旗
炎天下深紅の旗は重かりき
スターなき桜美林優勝さわやかに
大会旗下りて逝く夏甲子園

甲子園出場に思う

1967年3月5日 第81号より

第39回選抜高校野球大会、いわゆる春の甲子園に桜美林高校が初出場した際の記事です。大いに喜んでいる清水安三先生の筆が踊っています。「もうサクラビリン学園等と読む者はなくなった」、「我輩は、甲子園へは黒枠の額（※編注：遺影の意）の中に入って行くのであろうと想っていた」、「もう之にて何時死んでもよいとまで思っている」などなど、桜美林の名が全国に知れ渡ることの嬉しさをこれでもかと熱弁されています。この時の甲子園では1回戦で平安高校に敗れてしまいますが、9年後の1976年、第58回全国高等学校野球選手権大会では、夏の甲子園初出場にして初優勝を飾ります。東京に60年ぶりに真紅の優勝旗をもたらした桜美林高校は、一躍「時の人」ならぬ「時の学校」となりました。

1976年10月1日
第117号より
桜美林高校が夏の甲子園に初出場にして初優勝した際に寄せた志村先生の記事

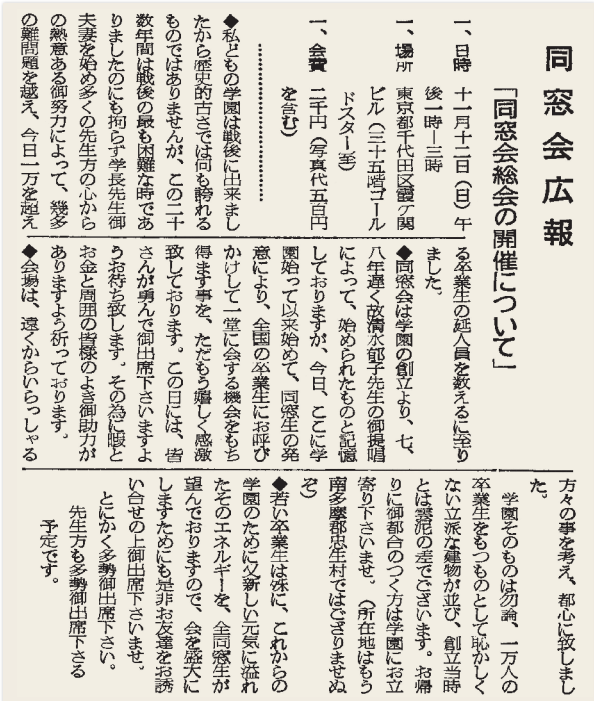
「復活の丘」復刻版販売のお知らせ

桜美林学園同窓会では「復活の丘」の復刻版を販売しております（送料別途）。お問い合わせは事務局まで。

メール／alumni@obirin.ac.jp
お電話／☎042-797-1632

《復刻版Ⅰ》1991年9月1日発行
第1号(1955年8月1日発行)～
第100号(1972年4月10日発行)所収。
定価1500円(税込)

《復刻版Ⅱ》1996年7月1日発行
第101号(1972年7月1日発行)～
第150号(1993年6月1日発行)所収。
定価1500円(税込)



同窓会広報

「同窓会総会の開催について」

一、日時　十一月十二日（日）午後一時―三時
一、場所　東京都千代田区霞ケ関ビル（三十五階ゴールドスター等）
一、会費　二千円（写真代五百円を含む）

◆私どもの学園は戦後に出来ましたから歴史的古さでは何も誇れるものではありませんが、この二十数年間は戦後の最も困難な時でありましたのにも拘らず学長先生御夫妻を始め多くの先生方の心からの熱意ある御努力によって、幾多の難問題を越え、今日一万を迎える卒業生の延人員を数えるに至りました。

◆同窓会は学園の創立より、七、八年遡く故清水郁子先生の御提唱によって、始められたものと記憶しておりますが、今日、ここに学園始って以来始めて、同窓生の発意により、全国の卒業生にお呼びかけして一堂に会する機会をもち得ます事を、ただもう嬉しく感激致しております。この日には、皆さんが勇んで御出席下さいますようお待ち致します。その為に暇とお金と周囲の皆様のよき御助力がありますよう祈っております。

◆会場は、遠くからいらっしゃる方々の事を考え、都心に致しました。

学園そのものは勿論、一万人の卒業生をもつものとして恥かしくない立派な建物が並び、創立当時とは霄泥の差でございます。お帰りに御都合のつく方は学園にお立寄り下さいませ。（所在地はもう南多摩都忠生村ではございませぬ）

◆若い卒業生は殊に、これからの学園のために又新しい元気に溢れたそのエネルギーを、全同窓生が望んでおりますので、会を盛大にしますためにも是非お友達をお誘い合せの上御出席下さいませ。

とにかく多勢御出席下さいい。

先生方も多勢御出席下さる予定です。

同窓会広報

1972年10月20日
第102号より

桜美林学園初となる「同窓会総会」開催の告知をする記事です。会場の「東京都千代田区霞ケ関ビル（※編注：正しくは「霞が関」）」は1968年に完成した日本で最初の超高層ビル。会費の「二千円」は現代の金銭感覚に換算すると約20,000円ぐらいでしょうか（1968年当時は銭湯が32円、公務員の大卒初任給の平均が約25,000円）。きっととても豪華な総会だったのでしょう。

活躍するオビリンナー

プロ野球ドラフト会議3位指名で山野辺 翔さん(16大健卒)が、埼玉西武ライオンズへ入団決定！

山野辺さんは桜美林大学卒業後、社会人野球2年目となる2018年プロ野球ドラフト会議にて埼玉西武ライオンズから3位指名を受けました。埼玉西武ライオンズでは3位指名の選手が活躍する傾向があり、過去には松井稼頭央や西口文也、最近の偶数年では浅村栄斗（2008年）、秋山翔吾（2010年）、金子侑司（2012年）、外崎修汰（2014年）、源田壮亮（2016年）と錚々たる顔ぶれ。さらに2018年までチームの主将で打点王を獲得したセカンドの浅村選手の楽天への移籍が決まり、セカンドを本職としている山野辺選手には活躍の大きな期待がかかっています。

◉本人からのコメント

埼玉西武ライオンズからドラフト3位指名をいただき、背番号4をつけさせてもらえることになりました、山野辺 翔です。自分自身、桜美林大学に入学したことによって今があると思うくらい成長でき、充実した大学生活でした！　先にプロ野球界へ行っている同級生の佐々木千隼に早く追いつけるように頑張っていきますので、これから埼玉西武ライオンズ、背番号4、山野辺 翔の応援をよろしくお願いします！　また大学の後輩たちのこれからの活躍を信じ、ご声援をよろしくお願いします！

山野辺 翔　Yamanobe Kakeru

東京都府中市出身、1994年5月24日生まれ／身長：170cm・体重：74kg／投打：右投げ右打ち・ポジション：セカンド／経歴：府中市立府中第八中学校（武蔵府中シニア）→桐蔭学園高等学校→桜美林大学→三菱自動車岡崎

©SEIBU Lions

詳細は
ウェブサイトへ

同窓会活動のお知らせ

中高文化祭　2018.09.17

第51回「桜空祭」―華―

同窓会では、毎年中高文化祭に参加し、中学校舎・立志館内にスペースをいただき、グッズ販売を行ったり、同窓会をアピールするための印刷物を来場者に配布したりしています。グッズ販売での売り上げは、全て中高の「教育環境整備」のために寄付しています。2018年は、9月16～17日に行われた文化祭の内、17日朝から同窓会幹事が集合し、現役中高生の元気さに負けないように、現役生や受験希望者及び保護者の方々に声を掛けました。お天気もまずまずで、スクールバスが着くたびにどっと人であふれました。その結果、同窓会の売り上げは156,080円となり、後日全額寄付しました。

大学祭&ホームカミングデー　2018.10.28

第52回大学祭「夢桜」～忘れられないときめきを～

秋晴れの中、今年も大学祭への参加として同窓会室にて緑茶サービスと桜美林グッズの販売、パネル展示、安三先生の動画、卒業アルバムの閲覧など懐かしい学園時代を同窓生に楽しんでいただきました。来室者数も74名と年々多くなり嬉しい限りです。ホームカミングデー会場では、第1部は荊冠堂チャペルでパネルディスカッションを行い、第2部は懇親会会場にて世代を超えたオベリンナーが集い、貴重なひとときを過ごしました。大学祭終了時には、グラウンドに花火が上がり、今年も盛大に終わりました。

箱根駅伝予選会　2018.11.10

頑張れ! 箱根駅伝チーム

桜美林大学の箱根駅伝予選会への参加も2018年で5回目となり、ここ数年は20位超えに近づいています。昨年は田部選手、今年は永瀬 孝選手（健康福祉学群2年）が関東学連の一員に選ばれました。2018年の予選会は大学生を中心に後援会、中高PTA、同窓会といった今までにないほどの大応援団が昭和記念公園に駆け付け、本選出場を祈って応援しました。ここ2年、予選会1位の桜美林大学のキサイサ選手が今回も2位に2分以上の差をつけて、圧巻の走りを披露しました。キサイサ選手はテレビのインタビューで、「来年までもっともっと練習して、また1位になる」と宣言していました。今後も予選会でより上位を目指してもらうため、同窓会も応援してまいります。

予選会で今年も個人１位に輝いた
レダマ･キサイサ選手
（グローバル･コミュニケーション学群３年）

Congratulations! 新成人の皆さんおめでとうございます

＼ 私たちのこれからに、エールをいただきました！ ／

2019年1月14日成人の日に、2016年度卒業生194名が再び桜美林高校に集いました。チャペルで礼拝を行った第1部では、それぞれ忙しい日々を送る中、久々に讃美歌の音色やお祈りをもって静かな時を過ごすことができました。昔の仲間が周りにいたこともあったからか、より心落ち着く時間となりました。説教は『泣く人と共に泣く』という題で木村智次先生からいただきました。木村先生恒例の讃美歌を先生の伴奏にのせて歌い、高校生活のワンシーンを思い浮かべる時間となりました。

第2部は、桜カフェで行い、静かな第1部とはうってかわり、みんなで和気あいあいとゲームや歓談、写真を撮ったりして高校生に戻ったかのように盛り上がりました。会の最後には、それぞれのクラスの担任の先生からお話をいただきました。先生方は応援しているとおっしゃってくださり、生徒一同これからの生活の励みになったことと思います。最後にこの会を開催するにあたって、お手伝いいただいた同窓会の方々や先生方に深く感謝を申し上げます。

鳥飼彩華／16高校卒

成人礼拝　2019.01.14

成人式祝い礼拝・茶話会を終えて

1月14日（月）に桜美林学園荊冠堂チャペルで、第68期生桜美林高校成人式が開催され、毎年恒例の成人式礼拝・茶話会が本年は2016年度高校卒業生の方々を対象に行われました。とても寒い中、約150人の卒業生が集まりました。礼拝の開始前より、久しぶりの再会に笑顔で賑やかな様子でした。第1部は成人式祝い礼拝でした。礼拝開始時刻が近づくにつれて卒業生もチャペル内に入り、伴奏者の前奏と共に礼拝は静かに始まりました。主の祈り、讃美歌、そして久しぶりの校歌を懐かしんで斉唱していました。礼拝が終了し場所を桜カフェに移動し、第2部の成人祝い茶話会が開催されました。

長谷川同窓会会長のあいさつに始まり、クラスごとに分かれゲームを実施、懐かしの友人や先生方との思い出話に花を咲かせていました。3年時の担任の先生方のあいさつでは、人生の先輩として、これから社会へ出ていく彼らに大きなエールを届けていただきました。同窓会は今後も、若者達の新しい出発を祝福し、応援していこうと考えております。

行事企画担当副会長　木下浩司

詳細は
ウェブサイトへ

広げようオビリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会の活動をお知らせします

支部会

横浜支部　2018.09.01

第11回 横浜支部リ・ユニオン

ホテル横浜キャメロットジャパンにて第11回横浜リ・ユニオンが開催されました。今回の横浜リ・ユニオンは50名強の参加者で、以前から知っている顔とは話が弾み、また同じテーブルになった方々とは新たな交流ができ、楽しいひとときでした。本年の7月から私は「横浜桜美林ライオンズクラブ」の会長となり、諸先輩や後輩さらに現役の学生たちとのご縁も増えております。ちなみに私の娘もオベリンナーで現在は大学3年生、芸術文化学群でホルンに夢中です。次回は周りの仲間たちにも、もっと声を掛けて盛り上げてまいります。石原 健／88大経卒

支部会

宮城支部　2018.11.10

天高く人交わる錦と鍋

2016年5月15日 に 東北地方で初めての支部として宮城支部が発足して以来、3、4ヶ月に一度のペースで支部会員の親交を深めてきましたが、今回は紅葉を愛でながら仙台は広瀬川の川原で、秋の風物詩「芋煮会」を開催。二つのかまどに薪を焚き、山形風（醤油味）、宮城風（味噌）の二つの鍋、七輪に炭火でのバーベキューも行いました。大越中高校長の乾杯に始まり、桜美林学園100周年に向けたお話をいただきました。また、支部会としての学園ツアーや他の支部との交流会など、今後の支部会としての活動に向けて楽しく語らいました。発会3年目の宮城支部です。桜美林学園で学んだ近隣県の東北地方の皆さま、全国の皆さま、これからもご支援、ご交流をよろしくお願いいたします。　阿部友昭／75大中卒

支部会

大阪支部・兵庫支部　2018.11.10

大阪・兵庫合同リ・ユニオン

大阪ヒルトンプラザウエストにて大阪・兵庫合同のリ・ユニオンを開催しました。支部参加者16名、同窓会本部から2名の計18名と少人数での開催でしたが、初めての方や久しぶりの方も参加され、思い出話や近況報告など皆さん楽しく過ごされていました。毎年集まりが悪くしばらくお休みも考えていましたが、会ではいろいろ前向きな意見が出され「来年は支部会発足10周年なので、ぜひやりましょう！」となりました。2019年の支部会は10月26日（土）を予定しております。皆さまのご参加を心からお待ち申し上げております。水野真理／68短家卒

支部会

沖縄支部　2018.11.17

第16回 沖縄リ・ユニオン

那覇市内の居酒屋一鮮満において、第16回の沖縄リ・ユニオンを開催いたしました。当日は、佐藤東洋士理事長、大越孝中学・高等学校長ほか、学園関係の方も参加いただき、いつにも増して賑やかな同窓会となりました。冒頭、佐藤理事長より学園の現在の状況などをお話しいただき、その後参加者と懇親を深めました。今回は、初めて参加された方や、地元の沖縄国際大学から桜美林大学へ留学したメンバーもおり、大変盛り上がりました。最後に、また来年の再会を約束し、閉会いたしました。

新城昭二／80大経卒

クラブ活動OB会を開催しました

OB会 **高校バレーボール部** 2018.06.30

近藤傳二先生 傘寿の祝い

バレー部を創設よりご指導くださり、多くの功績を残されてご勇退された前監督近藤傳二先生がこの度めでたく傘寿を迎えられたため、歴代OB、OGの皆さまと共にお祝いをしようと桜美林高校バレー部のOB・OG会を開催しました。全国各地から多くの世代のOB・OGの皆さまが駆け付け、盛大なお祝いの会となり、参加者全員が恩師への感謝や、母校バレー部への思い、仲間との大切な思い出を再確認することができました。OB・OG会では、これからも皆さまと協力し合い、母校バレー部のサポートをより強固なものにしたいと考えております。傳二先生、これからもお元気でお過ごしください！　高村将名／94高校卒

OB会 **高校陸上部** 2018.09.22

第4回 桜美林高校OB･OG会開催

町田のホテルラポール千寿閣にて、第4回桜美林高校OB・OG会が開催されました。顧問の浜野（旧姓井上）綾子先生を中心に、1966年から1981年卒業のOB・OG23名程の方々が出席してくださいました。今回が初めての参加という方々が数人いらっしゃいました。懐かしさで話も弾んでいたようです。歓談、会食がメインの会だったので、高校時代に戻ってその頃の話で盛り上がり、大変楽しい時間を過ごすことができました。次回は、2020年、東京オリンピックの年に行う予定です。オリンピックゆかりの場所でなどという話も出ています。次回が楽しみです。　石坂 猛／80大商卒

OB会 **鎌倉を愛する会** 2018.10.27

第2回 鎌倉を愛する会 同窓会

第1回から23年ぶりに同窓会を相模原ア・ドマニーにおいて開催しました。元気でいるからこそ今逢える価値を最大の集まるための意味として謳い、「思いは常に“最初で最後”の一回限りの今日のためにある…心に刻む人生の価値ある出会いをいつまでも！」を掲げて何十年ぶりにそれぞれが顔を合せる時間を持てました。こうして逢え、顔を合せられることは二度と無いくらいに貴重な時間であることを改めて感じながらの今回の同窓会でした。ありがとうございました。　則直 泰／78大商卒

OB会 **高校野球部** 2018.11.23

先輩、後輩が和気あいあい

桜美林高等学校野球部OB会は平成17年に設立し、会員相互の親睦・交流及び桜美林高校と野球部の応援を目的に活動しています。今年は14回目の総会・懇親会となり、28～76歳という幅広い年代層が約70人集まりました。学園理事長、高校長、同窓会副会長、全国優勝時の監督・濱田宏美先生にもご出席いただき、近況、思い出話などに花を咲かせアットホームな雰囲気の心に残る時間となりました。引き続き精一杯活動していく所存ですので、今後とも桜美林高等学校野球部ならびにOB会をよろしくご支援のほどお願いいたします。　岡本安弘／60高校卒

同窓会・クラス会を開催しました

同窓会　1984年度高校卒業2年C組クラス会

2018.08.25

町田の海鮮料理 暖にて2年C組のクラス会を開催しました。前回のクラス会は15年前、50歳を迎えてやっと実現したクラス会となりました。仲良し3人組でたまに会いランチをしている時に「クラス会をしたい」という話になり、それから2年後に実現しました。「初めは何人集まるのか、誰が来てくれるのか」とワクワクドキドキしておりましたが、私たちを入れて9人が集まり、懐かしい話に花を咲かせ、盛り上がりました。本当にクラス会をやって良かったです。今回ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。　幹事一同

同窓会　1973年度中学卒業同窓会

2018.09.22

今年は、相模大野駅の伊勢丹７階バンケットルームで一次会を、二次会は近くのカラオケ館で行いました。今回も石阪（旧姓笠井）千佳子先生はじめ20名の方々が出席してくださいました。毎年開催していますが毎回懐かしい話で盛り上がり、話はつきません。毎年参加してくださる皆さまには心から感謝しております。今後も一人でも多くの方に参加していただけるよう同窓会を盛り上げていきたいと思っています。　石川 桂／80大経卒

同窓会　昭和32年度短大英文科家政科同級会

2018.10.26～27

本年は、日時の都合や本人、連れ合いの体調により参加人数は多くありませんでしたが、桜美林学園伊豆高原クラブで行いました。桜の里の開花した秋桜、サボテン公園を各々が散策し楽しい一泊二日を過ごしました。例年のごとく、夜遅くまで若かりし青春の思い出話、現実の生々しい（？）生活を語らい、年を重ねることの楽しさを感じながら朝10時頃別れを惜しみながら解散しました。

川合貞義／57短英・94大院卒

同窓会　1981年度高校卒業同窓会

2018.11.3

最近非常に忘れっぽくなった私ですが、高校入試合格発表の日、帰りの淵野辺駅の「寒さ」と「ホームからの線路の風景」は今もとても鮮明に憶えています。来年の4月10日（この日が入学式）は桜美林高校へ入学して40年だ、そんなことを思いながら“81年度卒業同窓会”へ出席しました。卒業後、みんな別々の道を歩み、人生を生きて久々に再会して昔の、今の、話ができることはとても幸せなことです。とても楽しく貴重な時間でした。参加していただきました先生方、本当にありがとうございました。同窓生のみんな、ありがとうございます。皆さま、くれぐれもご自愛ください。　加賀谷 真／81高校卒

同窓会 1976年度高校卒業 第4回 桜五一会

2018.11.24

桜五一会は、卒業30周年記念として2006年に第1回を開催以来、4年に一度の開催を継続しており、第4回を数えました。男性42名、女性50名、A組伊藤隆吉先生、C組佐藤三知夫先生、D組浜野（旧姓井上）綾子先生、E組井上幹夫先生、藤崎堅信先生、合計97名が参加しました。先生方との思い出話が本当に懐かしく、楽しい時間を過ごすことができました。一同還暦を迎え人生も大きく変わってくると思います。桜五一会も相談しながら継続、発展させていきたいと思っています。石川 桂／80大経卒

同窓会 1980年度高校卒業同窓会

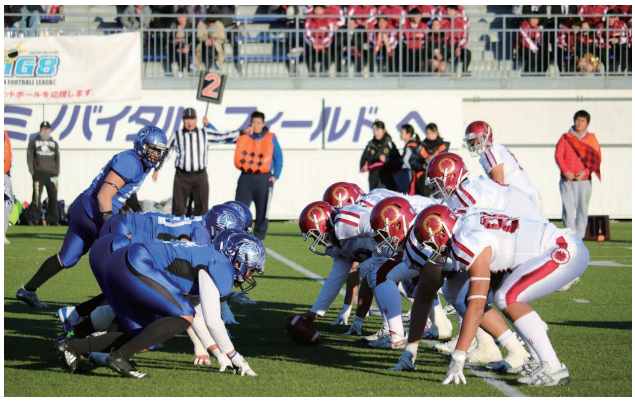
2018.11.24

ベストウェスタンレンブラントホテル東京町田にて、同窓会を開催しました。讃美歌312番を全員で歌い、当時の礼拝を思い出す雰囲気で開会し、稲持教昭先生、阿津川恵子先生、藤野英雄先生にご出席いただき、総勢94名の賑やかな集いでした。先生方から当時を振り返るエピソードなどのスピーチがあり、心温まる時間を過ごしました。最後は桜美林恒例の藤野先生によるエール、会場に響き渡る声は今も健在です！　出席してくださった皆さま、当日お手伝いしてくださった皆さまに感謝を申し上げます。次回、還暦にまた元気な笑顔で会いましょう！

石井幸恵／82短英卒

NEWS 惜しくもTOP8昇格ならず!

大学アメリカンフットボール部　2018.12.15



昨年12月15日に行われた関東学生アメリカンフットボール連盟1部リーグTOP8との入替戦で日本体育大学と対戦し、31対21で敗戦となりました。当日は1,000名を超える多くの応援をいただき、誠にありがとうございました。アメリカンフットボール部は今年創部50周年を迎えます。今季は必ずTOP8昇格、そして念願の日本一を目指し邁進してまいります。これからもご声援をよろしくお願いいたします。　数馬田 啓／94大国卒

NEWS 英語でラグビー in 桜美林

高校ラグビー部OB会有志　2019.1.26

「英語でラグビー in 桜美林」を高校ラグビー部OB有志が主催しました。渋谷インターナショナルラグビークラブ（以下SIRC）に講演、実技体験を委託しました。SIRCは茗渓学園を率いて花園を制覇した徳増浩二さんの主催するクラブです。実技体験では2名の外国人コーチが本学高校・大学ラグビー部、昭和第一学園、八王子拓真の選手たちを「英語で」本格指導してくれました。それにしてもOBたちの嬉しそうだったこと。「ラグビーは少年をいち早く大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」という格言がありますが、おじさんの皮をかぶった少年たちがそこにいました（苦笑）。生まれた国も年代も違う人々が、楕円球によって打ち解けて、大いに楽しみ、桜美林らしい一日となりました。

英語でラグビー実行委員会　青木竜馬／82高校卒

追悼

桜美林学園ならびに同窓会の発展に多大な貢献を果たされた、
佐藤誠一郎同窓会前会長、羽根田 実先生、岩井清治先生のお三方が、平成30年中にご逝去されました。
謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、感謝と哀悼の意を込めて追悼文を捧げます。

佐藤誠一郎君に捧ぐ

杉浦信男／50中学卒

佐藤君、いつになく筆がすすまずホント困っている。
矢張り君は天に召されたのか。ポッカリ心に穴が開いたようで立ち直るに時間を要するようだ。本音は別離を認め難いのである。思えば君は、若くして事業や地域社会の活動を通じ、抜きん出ていた存在であった。そんななか、桜美林のよしみ、世代を超えて知り合えたのは自然のなりゆきでもあった。正しく恩師清水安三・郁子先生のお導きの賜として、感謝感謝である。君は桜美林学園に特別の思いが強く、君の背中をみて歩むことも今をして続いているのである。君は同窓会で大活躍、町田支部長、同窓会幹事、副会長を経て会長職を務めた。母校を楽しむ同窓会の組織造り、後継の育成にも格段の配意に努めた。こと同窓会については、なにせ中卒かつ無印OBは地域限定役員が精一杯と任ぜられた者を、幹事に推薦されたのも君だった。以来、君のカバン持ちを自認、二人三脚を志向し会務の推進の手伝いに微力ながら務めさせていただいたつもりだ。他の団体の関係もあるが、月間3回以上打合せや笑談の機会を持ったが、いつも母校の話題は至福のひとときをもたらせてくれた。
そんな希望と楽しみに満ちた雰囲気をうち砕かされたのは一昨年7月、君の体調異変を告げる一本の電話であった。周囲の風景がセピア色に変化するなか、親友から戦友へと意識を変え共に歩んだが、祈りといらだち、無力感にさいなまれる日々であった。君は超人的頑張りをみせた。が遂に10月25日、卒然と最愛の家族に見守られ天に召された。君は世間の評価も高く、若くして多くの表彰にもあずかり、なかでも厚生労働大臣表彰は特筆ものだ。66歳、疾風のように駆け抜けてしまったが、凡人の二、三倍に相当する内容の充実した人生であったと思う。
君の大好きな忠生の地、大好きな桜美林学園の学舎がのぞまれる地で、君は眠る。悲しみを超えて活動する後輩たちをお守りください。ありがとう。
敬義院法修日誠居士　儀

さようなら
合掌

佐藤誠一郎さん

1952年5月東京都町田市生まれ。1971年3月桜美林高等学校卒業。明治大学法学部卒業後、株式会社「魚儀」の経営に従事し、町田市食品衛生協会会長等を務めるかたわら、桜美林中学高等学校PTA会長、桜美林学園同窓会幹事・副会長・会長（2014年6月～2018年6月）、桜美林学園評議員を歴任。

昨年（2018年）2月、清水安三先生顕彰会の集いにて、鬱金桜と木槿の花の記念植樹に参加されているところ。

羽根田 実さんを偲んで

後藤彰寛／82大英卒

それは9月10日（月）、雨の降る夕方でした。仕事を終えて駐車場に向かう途中、あと少しで横断歩道を渡りきろうとする時に、大型バイクに跳ねられ、多くの方々の思いもむなしく意識が戻ることはありませんでした。あまりにも突然の出来事でした。羽根田さんは、誰に対しても常に優しく、思いやりを持って接してくれ、多くの方々に慕われていることは、みなさんがよくご存じの通りです。

一方で、とても意志は強く、少々頑固なところもあり、微笑みながら厳しいことを言われると、中々反論できないことがよくありました。つらいことがあっても、人前で顔に表すことはせず、人知れずバッティングセンターで思いっ切り気持ちの切り替えをしていたようです。でもその話をしてくれた時も、優しい笑顔でした。

今も、そしてこれからも羽根田さんの笑顔と優しさは、皆さんの心の中で生き続けることと思います。安らかなる眠りを祈りつつ。

羽根田 実さん

1957年6月大阪府生まれ。1976年3月桜美林高等学校卒業。1980年3月桜美林大学文学部英語英米文学科卒業。1992年4月桜美林学園入職。国際交流センター課長、総務部次長、秘書室長、幼稚園長（2008年4月～2017年9月）、キリスト教センター長、総務部長、法人本部長（2018年4月～9月）。理事（2008年4月～2017年3月）、評議員（2018年4月～9月）。

振り返れば桜美林 そして岩井さん

三宅 洋／68大英卒

50年来の友人、岩井清治（元大学副学長）さんが9月27日に亡くなりました。享年76歳でした。会えばいつも人懐こい笑顔、少々頑固でしたが義理堅い面もあり、優しい人でした。

岩井清治さん

1942年3月長野県生まれ。1962年3月桜美林短期大学英語英文科卒業。明治学院大学卒業、明治大学大学院満期退学。大学院在籍中より桜美林短期大学・桜美林大学専任助手、1987年経済学部教授。その後、商学科長、国際学研究所次長を歴任し、1995年4月より副学長（～2000年3月）。2012年3月定年退職。名誉教授。

最良の友人を失くし、悲しく寂しく痛恨の極みです。

最後に岩井さんと会ったのは、今年の4月22日、亡くなった恩師や友人の合同偲ぶ会の会場である学園ゲストハウスでした。岩井さんは“治療を受けながら何とか頑張っています”と話していました。今夏は、大変な酷暑で心配しておりましたが、10月になり同窓会会誌が届きその中でOBの喜寿の会の写真に岩井さんを見て無事に酷暑を乗り切ったのだと喜んでいました。

岩井さんとの出会いは、約50年前です。私は短大卒業後学校に残り、大学設置準備のため末端ですがお手伝いをしておりました。岩井さんは2年先輩で短大卒業後、明治大学大学院へ進学して学費稼ぎのため、ダンプカーで仕事をしながら苦学に励んでおりました。晴れて安三先生は夢を叶え大学設置が実現し、私は大学へ入学させていただき、岩井さんも希望する学園へ奉職し安三先生の運転手としてキャリアをスタートしました。

4月に再会した時、岩井さんから、40年以上前に彼が結婚した時に我々友人から贈った浴槽の話が出ました。花嫁は旧姓小嶋志ま子さん、私と同じく短大卒業後家政科助手として学校に残りました。山形県のリンゴ娘でした。お二人の結婚記念として浴槽を贈り、我々の名前を署名しました。その浴槽が今でも岩井家に保存してあると聞いてびっくり仰天しました。彼の義理堅い性格に改めて驚いたわけです。

会うたびに取り留めのない話題に興じておりましたが、振り返れば二人で共感したのは互いに過ごした期間こそ短かくはありましたが、まず創立者の清水安三先生との出会い、そして大学の黎明期に、全てに充足していなかった中で明るい希望に満ちた時間・空間を過ごせた経験は、その後の人生に少なからず貢献を果たしたなと確信しています。

永き友情に感謝します。安らかにおやすみください。

清水安三先生随筆

「基督教世界」

大正12年（1923年）10月12日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名使いは新仮名使いに改めました。
小林茂／51高校卒

焼跡からの掘出物　清水安三

（二）

三日の朝だった。日暮里まで行けば電報が打てると聞いて、私は滝野川から王子の方に向った。無論異郷に在って、夫の安否を心配している筈の妻に打電せむために行ったのである。その日沢山の道連れの中に、本所から逃げのびた年若い奥さんがあった。足袋裸足で歩いてるが、随分へとへとに疲れてる。彼女の持物がちょっと変わっている。それは硝子のはまった随分大きい額だった。巾三尺、長さ四尺もあったろうか。大切そうに小脇に抱いていそいそと行く。

変な女だと思うよりも、可憐に思わざるを得なかった。多分周章てた余り額みたいな物を運び出したのであろう。

「随分あなたの持物は変っていますのね。幾らなんだって、もっと何かお出しになるものがあったでしょうに」

私はもう羽痒くって思わずずけずけと喋っちゃった。

「ねえ、あたしだって買ったばかりのボイルの単衣もありました。あら、本当ですもの、あかしの着物も、それからおめしも二三枚、無論丸帯だの、あゝ本当に惜しうございましたのは、遂いこの間三越で買ったばかしのさらさ羽二重の、それは気にしつくり合った帯も皆んな焼いてしまいましたわ。」

この女なかなかよく喋る。でも何という歯切のいい口調だろう。女は猶も言葉を続けた。

「やっぱり、あたくしも着物のことを一番に思いましたわ。そうして箪笥から大急ぎで一枚々々引きづり出しました。一度はね。でもねえ、その時あたし手だの足だのがぶるぶる振えて取出した着物が荷造れないじゃありませんか。地震はまたしてもぐらぐら揺れるのでしょう。その時あゝその時でした！　あたくしは騒ぐ胸を沈めようと、お祈りする心持ちになりましたの。あたくしはいつもお座敷にかけて置いたサンタ・マリアの額の前に跪いてお祈りするのが常ですの。主人は朝早く出たぎりまだ帰って参りませぬ。もう神さまばかりが、あたくしの頼りでしたものね…。」

女は袂を顔にあてゝ、よゝと泣き出した。

「どうしたんです。それから？　泣かんで云って下さい。悲しいんでしょう。そら悲しうもございましょうけれど。」

「いいえ、あたくし嬉し泣に姻んでるのですわ。あの折あの怖ろしい時によくもお祈りの心持になれたものです。感謝ですわ本当に。あたくしは間もなく胸の騒ぎが沈んだものですから着物など惜しくも欲しくも何ともなくなりましたの。彼是する裡に火は四五軒お向いの家までやって来ました。あたくしも逃げねばならぬと気着いたのですが、何か一つ持って行こうと考えました刹那、このサンタ・マリア様を救い出そうと感じました。そう考えた時はもう手は額を取り落していました。それからまっすぐに被服廠に逃げました。」

「あの怖ろしい被服廠跡へ」

「えゝ、凄惨な光景はもう夢中でしたから、よくは申上げられませんけれども、思ってもぞっとしましたわ。」

「よくもまあ、あなたは彼処で助かりましたね」

「えゝ、全くのことサンタ・マリアのお陰ですわ。あたくし額の硝子の方を上にして、その下にじっとしゃがんでいました。ご覧遊ばせ額縁はこんなに焦げています。」

私達は道傍に立止って、サンタ・マリアを見入った。彼女は草生の上に跪いて、静かに十字を切って、胸に手を合せた。

「あたくしが救出したこのマリア様は、あたくしを救って呉れました…。」

彼女は今朝日比谷の役所に行って、夫が王子に逃げていることを知ったのである。夫の方はもう愛する妻は死んじゃったと思ってるであろう。今女は面会の喜びに輝き乍ら行く途上なのである。着物を持ち出したものは、その着類と共に灰になった。手提金庫を持出した者は、その金庫を抱き乍ら死んでいた。ひとりサンタ・マリアの下に祈る女のみが、愛する夫に見わることが出来たのである。

皆さまからのお便り ひろば

宮本 淳／83大経卒　（東京都町田市）
同窓会だより楽しく読んでいます。これからは駅伝が楽しみです。毎日チャペルを見ながらバス通勤をしています。どんどん大きくなる桜美林、これからも発展していくことを願っております。Fight!!

石原 恵／98大英卒　（神奈川県横浜市）
JAL退職後、教員をしていましたが退職。4年間主人の中国赴任先で生活しました。この秋よりRCJメディア・ミニストリーでの勤務が始まり、福音伝道の働きに加わらせていただくことになりました。羽根田 実先生のご逝去を知り、ご家族、学園の上にお慰めとお導きをお祈りいたします。

田中よし／66高校卒　（奈良県宇陀市）
2018年9月18日、ラジオ深夜便にて大先輩である髙橋幸枝医師のお話を拝聴いたしました。百歳にして『すこしだけ無理をするの』という思想に感服。希望をいただいた思いです。

新井早詠子／86大中卒　（長野県松本市）
同窓会だよりをいつもありがとうございます。来春には新宿キャンパスがオープンするとのことで、新しい桜美林の姿が希望の中に思い描かれます。学園の益々の発展をお祈りしております。学生時代を懐かしみつつ、卒業して30数年。55歳の私は「菜根譚」を味わいつつ、再度始めた書道でその書物の中の含蓄ある言葉の数々を筆で書き楽しんでいます。知ること、そして学ぶことは日々進化です。

金平伸一／87高校卒　（愛知県名古屋市）
この度、名古屋へ転勤となりました。同窓会だよりいつも楽しみにしております。特に懐かしい先生の顔が写っていると、30年前のことを思い出します。今でも明るく元気な学園の様子を拝見すると元気をいただいています。

黒川容子／83大英卒　（秋田県鹿角市）
同窓会だよりを楽しみにしておりました。今秋より実家に戻り老いた母と暮らし始めました。今度は近くの支部リ・ユニオンに、又たまには学園リ・ユニオンに参加できるようにしたいと思っております。

永渕伊津子／83短家卒　（沖縄県浦添市）
主人の転勤で沖縄に移住して早20年の月日が経ちました。今ではすっかり“ウチナーンチュ”の気分で暮らしています。

戸田奉美／99大英卒　（東京都港区）
2018年10月5日～7日に行われた三重県津市の「津まつり2018」に出演させていただき、各会場で津を舞台にした「津の女」（新曲「絆道 ―きずなみち―」のカップリングに収録されている楽曲です）を歌唱させていただきました。

退職された先生方

●大学［ビジネスマネジメント学群］小野寺三朗先生・岡田 充先生・野田秀三先生　［リベラルアーツ学群］井上大衛先生・太田哲男先生・金 世中先生・高井潔司先生・中山市太郎先生　［芸術文化学群］小林信一先生・丸池 納先生　●大学院　白澤政和先生・山本眞一先生

特別会費のご協力について

同窓会費納入規程により、卒業後10年、20年、30年に該当する同窓生に特別会費（各5,000円）のご協力をお願いしております。特別会費は同窓会運営の大切な財源になっております。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

北条慎司／87大経卒
大島淑恵／87高校卒
相川太郎／97大商卒
柴田啓祐／97大国卒
戸塚 靖／04大健・07大院卒
中西麻衣子／07大国卒
柴田 幸／07高校卒

感謝の誌代 敬称略

澄川幸子／67短家卒 …… 10,000円
平綿芳子／65短英卒 …… 3,000円
川合貞義／57短英・94大院卒 …… 5,000円
今野 聡／80大商卒 …… 10,000円
藤田ナツ子／59短家卒 …… 5,000円
秋山孝明／ナルド代表取締役 …… 10,000円

ご逝去された方々

謹んでご冥福をお祈りいたします。　敬称略（　）内は旧姓〔　〕内は逝去年月　※ご報告順

岩井清治名誉教授 …… 61短英卒〔18.09〕
横田 裕 …… 85大商卒〔18.08〕
本多（清水）智恵子 …… 67短英卒
浅川香里 …… 93大国卒〔18.06〕
川田次郎 …… 51中学卒
市川 博 …… 50中学卒
栗原利寿 …… 52高校卒
矢口静教 …… 64短英卒〔15.〕
浅沼（白井）克代 …… 66高校卒〔18.07〕
掛川幸雄 …… 53短英卒〔17.11〕
大森 寿 …… 89大経卒〔18.02〕
村岡 洋 …… 78大商卒〔84.11〕
内藤雅憲 …… 82大商卒〔18.09〕
小島澄夫 …… 62高校卒
佐藤源太 …… 93大経卒〔18.09〕
小川 茂 …… 66高校卒〔18.05〕
北島政壽 …… 62高校卒〔18.01〕
谷合良昭 …… 82大経卒〔17.12〕
廣川恵一 …… 90大英卒〔14.〕
金山（勝治）和子 …… 63高校卒〔14.09〕
本田 準 …… 09大健卒〔18.01〕
鈴木郁子 …… 98短生卒〔18.04〕
鈴木（池戸）喜久江 …… 81短家卒
九嶋（三沢）トリ子 …… 49中学卒〔18.09〕
豊田憲明 …… 71大英卒
市川和枝 …… 70短英卒〔18.10〕
板垣宏繁 …… 75大商卒〔18.11〕
佐藤誠一郎 同窓会前会長 …… 70高校卒〔18.10〕

INFORMATION

これからの行事予定

31

✽印は同窓会主催。詳細はそれぞれのウェブサイトまで。

2019

新宿キャンパスオープン（ビジネスマネジメント学群が移転）	4月 1日(月)
還暦・古稀・喜寿・傘寿祝い礼拝✽	4月20日(土)
2019総会＆リ・ユニオン✽	6月 1日(土)
横浜 リ・ユニオン✽	9月 7日(土)
大阪・兵庫 合同 リ・ユニオン✽	10月26日(土)
相模原 リ・ユニオン✽	11月16日(土)

北海道支部より 支部旗授与式開催のお知らせ

全国17支部の1つである北海道支部は、現在450名を超える会員の方々がおり、2019年度の支部会で「支部旗」を授与されることとなりました。この記念すべき日に、学園より来賓をお招きし会員の皆さまと支部会・懇親会を開催したく、今秋に向けて準備をしております。多くの会員の皆さまとこの喜びを共有したいと思いますので、ぜひご参加ください。授与式の日程など、詳細は決まり次第ご案内いたします。　北海道支部一同・矢吹光弘／83大英卒

同窓生の本

いっしょのちがうもの　さるびあ亭かーこさん／88短家卒

プロ紙芝居師として活躍する氏による、食物アレルギーの人が「食べないようにして自分の体を守っている」ことの意味を優しく教える絵本（モデルとなった親子は桜美林幼稚園の卒園生）。絵本塾出版より2018年2月発行。

摑みそこねた魂　新井豊吉さん／77大英卒

福井大学大学院教育学研究科准教授として活躍される氏の4作目となる詩集。教員として関わってきた障害をもつ子どもたちに触発されて書いた作品が中心。第40回青森県詩人連盟賞受賞作。思潮社より2017年9月発行。

営業の鬼100則　早川 勝さん／84大商卒

講演やセミナーをしながら現在も営業マネジメントの最前線で活躍する氏の最新作。保険業界で培った経験と膨大なデータから導かれた「営業の鬼」の言葉はすべての営業マンの胸を打つ。明日香出版社より2018年9月発行。

桜美林大学特別強化クラブ報告会

2月16日（土）に荊冠堂地下ホールにて、桜美林大学特別強化クラブ7団体（①アメリカンフットボール部 ②弓道部 ③ソングリーディング部 ④チアリーディング部 ⑤バレーボール部 ⑥野球部 ⑦陸上競技部）の活動実績や、いただいた寄付金使途などの報告会が行われました。今年度もご支援よろしくお願いします。

会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしており、会員名簿の発行は1996年に作成したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過去に発行した同窓会会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください（8月10日（土）より18日（日）まではお休みいたします）。

ウェブサイト／https://www.obirin.jp/alumni
メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp
お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632

編集後記

創立者清水安三先生が1955年8月に学園誌「復活の丘」を創刊されました。建学の精神を伝えるとともに卒業生を応援する目的を持つ同誌は後に「同窓会だより」となり、今日お陰さまで200号をお届けすることができました。2ページでご紹介した発刊の言葉の記述に見えるように、北京で全てを失い、戦後の日本のこの丘でまさに復活した桜美林学園は、日本の復興とともに発展を遂げました。安三先生がこの学園誌で同窓生へ何を伝えようとしていたのか、今号で思いを巡らせていただけたら幸いです。　広報委員長　井伊公友

桜美林学園 同窓会だより 200号　発行日：2019年3月25日　発行：桜美林学園同窓会　〒194-0294　東京都町田市常盤町3758　☎042-797-1632